

12月  
December



## グロリオサ

花言葉 栄光／勇敢

のびやかに、軽やかに  
グロリオサで彩るモダンな迎春アレンジ

### プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 花卉に傷や折れがなく、花粉のふいていないものを選びましょう。飾る際に花粉が気になる場合は、早めに摘み取りましょう。
- 水だけでも日持ちしますが、切り花栄養剤を使うとさらに長く楽しめます。
- 寒さに弱いので、家の中の寒すぎない場所に飾りましょう。

### お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①お正月らしく升(マス)を器を選び、中に剣山、もしくは吸水性スポンジを薄く敷きます。若松の枝を小分けにし、器の中に直立に敷き詰めるように立たせます。
- ②升の口元に短くカットしたマムをあしらいます。
- ③最後に、余分な葉を取り除いたグロリオサをスッと立たせます。升には常に水を足しましょう。

来る年を上昇気流にのせて

「炎のユリ」とも呼ばれ、ユニークな花形とのびやかに広がる草姿が印象的。産地としては高知県が有名で、日本のグロリオサは品種・品質共に世界一のお墨付きで輸出も盛ん、世界中で愛されています。松や千両など縁起物と合わせて迎春のアレンジにもおすすめ。花が小振りのミニタイプは、アレンジしやすく人気です。



使っている花 ■ グロリオサ  
「マスコットイエロー」、ディ  
スバッドマム「アナスタシア  
ダークグリーン」、若松

